

令和7年度 第3回学校関係者評価委員会
兼 信頼される学校づくりのための委員会

- ◎日 時 令和8年2月4日（水）
◎会 場 C24教室
◎参加者 評価委員・校長・教頭・事務長・4部主任・学年主任・学校評価係
◎会 順 14:00～開会のことば・校長より
14:05～教職員自己評価、生徒・保護者アンケート（最終）報告
14:10～各主任より最終反省に対する口頭説明
（教務部）（生徒指導部）（進路指導部）（保健部）（各学年主任）
14:25～質疑・応答、意見交換
14:50～閉会

◎委員からの感想等（まとめ）

- (質問) 学校案内のチラシを配布した後、地域の反応はどうだったか。
(回答) 枕崎市広報誌12月号(9200部)への折り込みで市内の家庭に届けることができた。7つの新コースについて、地域にも浸透しつつある。今後、市内の中学校にも配布を計画し、広く周知する必要性を感じている。
- (質問) 2学年の反省に「文章力を身につけさせたい」とある。中学校でも文章力の育成は大きな課題であるが、生成AIが普及する現代に、どのように指導すべきか苦慮している。AIに関して、何か学校の方針等はあるのか。
(回答) 文書作成について、これまで生徒にAIの使用を促したことはない。生成AIに関する職員研修を行い、知識や理解を深めている。AIを用いて書いた文章が生徒自身の表現と矛盾することがないように、適切な指導を行っていく必要があると思う。
- (質問) 学校評価アンケートの進路指導に関する項目で「先生方は、進路希望の実現に向け、生徒一人一人を理解し適切な支援をしていると感じている」とあるが、生徒の達成度と保護者の達成度において大きく差が出ている。その理由について。
(回答) 学校では、進路ガイダンスを実施したり、上級学校見学や企業見学を行ったりしている。また、教育相談や三者面談も行い、教員が生徒1人1人と進路の話をする機会を設けている。個々と話をする中で、保護者には自分の進路についてなかなか話すことができないと感じている生徒が一定数いるとも感じている。
- (質問) 学校評価アンケートの生徒指導に関する項目で「学校では、生徒の悩みや不安等を相談する場があり、安心して過ごせると感じている」とあるが、生徒の結果で、1人の生徒が「不十分」と回答している。このような生徒たちにどのように対応しているのか。
(回答) 年に5回、「生活アンケート」を実施し、生徒の状況把握に努めている。また、学年間で情報を共有したり、スクールカウンセラーを活用したりして、ケアに取り組んでいる。